

健生病院

**あらゆる疾患への初期対応や
診療ができる、守備範囲の広い
総合的な臨床能力を有する医師を目指す**

**適切な初期対応力を伸ばす
二つの初期研修到達目標**

二つの初期研修到達目標が設定されていることが健生病院の研修の大きな特徴です。目標の一つは「ER当直ができるようになること」です。救急にはER専属指導医が常駐しており、多くの救急症例や手技の機会から主訴に対しても必要な初期対応治療をステップアップ方式で学んでいきます。1年目の終わりには、到達度を確認しますので、「明日から1人で当直」ということはありません。

もう一つは、「診療所の副所長を担えること」で、1人で任せられるかということです。実際に診療所での診察や訪問診療などを通じて、慢性疾患の管理や在宅医療の現状などを学びます。個別の具体的な対応のほか、紹介状の書き方から退院後のフォローまでの一連の流れにおいて、病診連携における意識・技術・多職種連携を習得します。



松本 拓真 医師
研修年次:2年目
出身:弘前大学



春木 茂紀 医師
研修年次:2年目
出身:弘前大学

**しっかりととした教育体制により
将来に必要な実力をつけられる**

健生病院は、WHOが推奨するHPPH（ヘルス・プロモーション・ホスピタル）に東北6県の臨床研修病院で唯一加盟しているため、研修医も「健康エッグ」や「医療講話会」に講師として参加します。地域住民の医療ニーズがわかり、生活環境や背景を見ることで、患者さんを診る力がついていきます。また、CT学習会や「プライマリ・レクチャー」なども盛んに行われ、医師としての基本的な症例や手技の経験、診察力、判断力が身につきます。

今まで研修してきて思うことは、指導医だけではなく、患者さんとそのご家族、同僚、多職種の方と関わることで、一人ひとりの個性を活かしながら成長できる環境があるということです。病院全体で育ててくださいますので、将来どんな分野に進んだとしても不安はありません。

「あおもり」は良医を育てます！

私たちには研修医を決して置き去りにはしません

地域に根差して幅広く活躍できる医師を目指す。「誰も置き去りにしない」は国連が掲げるSDGの標語です。地域の医療と健康を国際的な視点で捉えながら、臨床医としての確かな歩みを私たちと共にスタートしませんか。



院長
伊藤 真弘 医師

「あおもり」に潜在する医療の魅力や医師にスポットライトを当て、「医ノ森」の魅力を伝えます。

青森県医師臨床研修対策協議会
事務局:青森県健康福祉部医療業務課
TEL:017-734-9288/FAX:017-734-8089
E-mail:iryo@pref.aomori.lg.jp

研修医の声

技術・多職種連携を習得します。
までの一連の流れにおいて、病診連携における意識・
技術・多職種連携を習得します。

お問い合わせ

TEL 0172-55-7717
担当: 医局医学生課 研修医室 齊藤 駿介

